

『力学のサボり方』（小田将人 著，学術図書出版社）

正誤表 第2版 第1刷用

頁	行	誤	正
77	2	$e^x \equiv$	$e^x \simeq$
77	下から 6	重力加速度を g とする	地上での重力加速度を $g = 9.8 \text{ m/s}^2$ とする
108	7-8	火星，海王星の平均公転半径を	金星，海王星の平均公転半径が
108	8-9	火星，海王星の公転周期を	金星，海王星の公転周期を
122	7	伸縮振動を実験で観測する	伸縮振動を観測する
122	下から 3	酸素分子の質量	酸素原子の質量
128	7	$m_1 l_1^2 \omega + m_1 l_1^2 \omega \dots$	$m_1 l_1^2 \omega + m_2 l_2^2 \omega + \dots$
141	5	$ \mathbf{a} \mathbf{b} \sin \theta$	$ \mathbf{a} \mathbf{b} \sin \theta \cdot \frac{\mathbf{c}}{ \mathbf{c} }$
141	8	である．外積の場合も	である*4．外積の場合も
141	下から 5	問題ない*4．	問題ない*5．
141	脚注に追加		*4 式 (A.8) 中の $\frac{\mathbf{c}}{ \mathbf{c} }$ は， \mathbf{c} 方向を向き，大きさが 1 の単位ベクトルである．
141	脚注の下から 2	*4 もちろん	*5 もちろん
149	下から 3	これで証明できた	これで証明ができた